科目名称	精神看護学方法論Ⅱ（精神看護過程）	学年学期	単位数	時間数
		2 学年後期	1	15
担当教員	石﨑　孝太郎	授業に関わる実務経験	■ 有 （ 看護師 ） □ 無	

【1】 授業概要

精神疾患・精神症状をもつ患者とその家族に対して、情報収集・アセスメント・看護計画・実施・評価の方法を理解し問題解決技法について学ぶ。

【2】 学習目標

さまざまな精神疾患・精神症状のある患者とその家族に対して看護過程の展開ができる。

【3】 第 2 看護学科ディプロマポリシーとの関連性

学習目標を達成することにより、次の能力を身につけることにつながります。

■ 1. 生活者としての人間を統合された存在として多角的に捉えることができる。
■ 2. 人間の生命、人間としての尊厳及び権利を尊重した判断および行動をすることができる。
■ 3. 人々の多様な価値観を認識して、専門職業人としての共感的態度および倫理に基づいた看護実践をすることができる。
■ 4. 看護の対象となる人々の健康状態を判断し、科学的根拠に基づいた看護を実践することができる。
□ 5. 保健・医療・福祉チームの一員として多職種の連携・協働を図り調整的役割を果たすことができる。
□ 6. 松山市および愛媛県周辺の地域医療への理解を深め、地域の人々の生活を尊重・支援することができる。
■ 7. 自己の資質向上のため、看護に対する探究心・向上心をもち、主体的に学び続けることができる。

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	精神看護の情報収集とアセスメント	講義
2	ゴードンの機能的健康パターンによる情報分析	講義・演習
3	紙上事例による看護過程の展開（アセスメント）	講義・演習
4	紙上事例による看護過程の展開（アセスメント）	講義・演習
5	紙上事例による看護過程の展開（アセスメント）	講義・演習
6	紙上事例による看護過程の展開（全体像）	講義・演習
7	紙上事例による看護過程の展開（全体像）	講義・演習
8	試験・まとめ	

【5】 評価方法

科目評価は、筆記試験(70%)、演習で作成した課題（30%）で総合的に評価する。

【6】 教科書

系統看護学講座　専門Ⅱ　精神看護の基礎　精神看護学①, 医学書院
系統看護学講座　専門Ⅱ　精神看護の展開　精神看護学②, 医学書院

【7】 参考書

渡邊トシ子　編：ヘンダーソン・ゴードンの考えに基づく実践看護アセスメント,第 3 版,ヌーヴェルヒロカワ,2018.
松木光子：看護学概論,第 5 版,ヌーヴェルヒロカワ, 2016.
T.ヘザー・ハードマン,上鶴重美,カミラ・タカオ・ロペス 編,上鶴重美 訳：NANDA-I 看護診断定義と分類 2024-2026,医学書院,2025.
上鶴重美：知っておきたい変更点 NANDA-I 看護診断定義と分類 2021-2023,医学書院,2022.
加藤進昌 他：TEXT 精神医学,南山堂,2012.
黒田裕子：看護診断のためのよくわかる中範囲理論,第 2 版,学研,2015.

【8】 受講生へのメッセージ